

組織目標評価報告書（平成24年度）

部局名：スポーツ教育センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	
①-1 目標	
<p>1. 教育の実施体制：教養教育：健康・スポーツ科学部会として、FDを兼ねた協議(シラバスの協同作成、WebClassの活用方法の検討等)を行い、授業改善をはかる。</p> <p>2. 教育方法・内容：健康・スポーツ科学担当教員のWebClass活用を推進する。</p> <p>3. 教育の成果：ポートフォリオ教材「リフレクション・ノート」を活用した学習到達の質的評価を推進する。</p>	<p>1. FD活動は2回行った。次年度シラバスへの記入と評価方法について協議した。</p> <p>2. 授業評価アンケートQ1が前年度の評価点4.1から今年度4.2とやや高い値 (0.05<p<0.10)となったことから、学生の主体的学習が推進できた。</p> <p>3. リフレクションノートの活用は全ての授業で活用し、担当教員からの意見を聞き、ノートの修正・改善を行った。</p>
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<p>1. 非常勤講師を含めた健康・スポーツ科学担当者全員参加のFD活動を年2回行う。</p> <p>2. WebClass学習を含めた学生の学習の主体性を、学生による授業評価アンケートQ1より評価し、当該項目ポイントの前年比増をはかる。</p> <p>3. リフレクションノートを活用するスポーツ実習Aのコマ数を前年比増とする。</p>	
②研究領域	
②-1 目標	
<p>1. 研究水準・成果：熱中症対策に関わる研究、健康増進およびスポーツ振興の効果性検証研究、新しいシューズの開発研究等を実施する。</p> <p>2. 研究実施体制：当センターを中心として大学病院、保健管理センター、教育学研究科、AGORA等との共同研究、岡山県および岡山市等との県市との共同研究体制を確立する。また産学共同による研究も推進する。</p>	<p>1. 熱中症関連の研究発表にて岡山県健康福祉学会にて保健福祉部長賞を受賞した。国内の研究論文は3件印刷され、研究発表は9件行った。また、熱中症予防対策マニュアルの第4版と高齢者版を作成した。新しいシューズの発売が行われた。</p> <p>2. 共同研究1件30万円、競争的外部資金2件：計82万円と目標以上に獲得した。また、AGORA主催のシンポジウムにて、共同研究成果を発表した。</p>
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究論文を2件以上発表する。 ・ 全国学会における研究発表を4件以上、国際学会における研究発表を1件行う。 ・ 共同研究1件：30万円、競争的外部資金1件：47万円を受入する。 	
③社会貢献(診療を含む)領域	
③-1 目標	
<p>1. 地域スポーツ組織・団体と協働し、スポーツ市民の交流を促進する。</p> <p>2. 地域住民への本学のスポーツ施設の活用促進を図るための方策を検討する。</p> <p>3. 公開講座であるスポーツ講座を充実させる。</p> <p>4. 健康・スポーツを核とした地域づくりを支援する。</p>	<p>1. まちなかスポーツカフェは12回開催した。</p> <p>2. 学内においては「スポーツキャンパス構想ワーキング」を立ち上げ、5月よりほぼ毎月検討会を開催し、最終答申を提出した。</p> <p>3. スポーツ講座は17回開催し、ビデオ撮影によりDVDの貸し出しも行った。</p> <p>4. 関連組織との協働活動は、岡山市(教育委員会・保健所・ふれあい公社)、美作市を中心に、ほか倉敷市、赤磐市、滋賀県湖南市と行った。</p>
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<p>1. まちなかスポーツカフェを年3回程度開催する。</p> <p>2. 学内スポーツ施設活用検討ワーキングを立ち上げる。</p> <p>3. スポーツ講座(全16回)の開催を維持しつつ、講座内容の刷新をはかる。</p> <p>4. 関連組織・団体との協働活動件数を前年比増とする。</p>	
④センター業務	
④-1 目標	
<p>1. スポーツ系サークルに対する活動支援を拡充する。</p> <p>2. 寄附金(約140万円)を有効活用する。</p>	<p>1. スポーツ系サークルへの熱中症予防講習会等を計9回開催した。その他、スポーツ障害相談、トレーニング相談、ビデオカメラ貸し出し、体力測定機器の貸し出し、実技講習会等、支援業務を拡充した。</p> <p>2. 寄附金は運営委員会にて用途を協議し、鹿田キャンパスサークルを含め、学外施設の活用料に充当した。その他、サークルの使用頻度の高いトレーニング機器やビデオカメラを購入した。</p>
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
<p>1. スポーツ系サークルへの支援事業の件数を前年比増とする。</p> <p>2. 部門長会議にて寄附金使途を協議した上で、その有効性について、スポーツ教育センター自己評価委員会において検証する。</p>	
【総括記述欄】	
<p>当センターが中心となって行っている教養教育「スポーツ実習」の授業改革は、次年度から「するスポーツ演習」「みるスポーツ演習」「支えるスポーツ演習」と変更され、大きく前進する。これらはe-Learningを含む授業となるため、これまで以上に管理運営を慎重に行う。研究面では地域社会貢献を含めた活動が評価され、岡山県保健福祉部長賞受賞と目標以上の外部資金獲得が行えた。他施設や地域と連携した活動・研究は今年度以上に推進する。学生支援活動ではこれまでの事業をさらに充実させるよう務める。</p>	